

# 高規格コンテナターミナルの整備により コンテナ取扱量が50%増大

とう きょう

## file07 東京港

対象施設 大井その1地区国際海上コンテナターミナル 岸壁(-15m) 等  
供用 平成16年

コンテナ船の大型化や増大する取扱貨物量の需要に対応するため、「大井コンテナふ頭再整備事業」を実施し、ターミナルを供用しつつ平成15年度に連続7バースの高規格コンテナターミナルが完成した。5,000TEU~7,000TEU積み大型船の接岸可能なバースの大水深化やターミナル面積の拡張により、コンテナ取扱量の増加に貢献。

1バース当たりの年間コンテナ取扱量は、再整備前の約18万TEU(平成7年度)から28万TEU(平成14年度)と約50%増大。



●大井コンテナふ頭利用状況

